

## 第12回 豊田市環境基本計画に関するアンケート

実施期間：12月8日（水）～12月19日（日）

回答者数：187人

### 【1】現在、ハイブリッド車などの電動車を自家用車として使用していますか？

使用している	53
使用していないが、次の機会に購入・使用しようと思っている	29
使用していないが、もう少し世間の動向や製品を見て判断したいと思っている（電動車以外の自動車を使用している）	51
使用するつもりはない（電動車以外の車を使用している）	13
自動車に乗らない（自分では運転しない）	14
現時点では特に考えていない	27

### 【2】【1】で「使用するつもりはない」と回答した方にお尋ねします。 理由を教えてください。

購入価格が高い	5
近距離しか自動車を使わなく、消費するガソリンもごくわずかである。わざわざ高価な電動車を使うこともないと考えている。	2
導入費用が高すぎる上にインフラが整っていない	2
リセールバリューが低い。税制恩典も減ってきています。	1
電気自動車EVとハイブリッドでは使い方が違うので正しく答えられない	1
災害時に強いから。	1
車で帰省(九州の田舎)をする事が多く、その場合地方はまだ充電設備が不十分でちょっと不安。	1
電磁波過敏だから	1

**【3】 「カーボンニュートラル」という言葉の意味やその必要性を理解していますか？**

言葉の意味・必要性ともよく理解している	41
なんとなく言葉の意味・必要性とも理解している	76
言葉の意味は知っていたが、必要性は理解していない	10
聞いたことはあるが、意味・必要性ともあまり理解していない	43
初めて聞いた（今まで知らなかった）	17

**【4】 カーボンニュートラル達成に向けた市（行政）の地球温暖化対策について、どのように感じていますか？**

十分できている	12
まあまあできている	69
普通	50
あまりできていない	20
全くできていない	5
わからない	31

**【5】 カーボンニュートラル達成に向けて、市（行政）に期待することはどのようなことですか？**

最も重要なことはデータの信頼性が高く、容易に理解できる表現になっていることだと思う。

CO2削減量の目標値、結果などのデータのもととなるデータが明確かどうか。消費サイクル全体のエネルギー消費を網羅した分析データとなっているか、などをわかりやすく示していただきたい。

豊田市はトヨタ自動車のお膝元であり電動車購入の補助金など他の市町村より多くして欲しい。また、EVなどの充電施設の計画的な設置計画、個人宅の充電対応など進めて欲しい。

食品ロス、ごみの減量化に向けた取り組みの強化。  
学校給食の残菜を減らすために、牛乳の希望制を取り入れるというのはどうでしょうか。子どもたちは、かなり飲んでいません。残した牛乳は必ず廃棄しているので、焼却費用がかさんでいるのではないかと思います。

自家用車の使用を抑えCO2削減の為に、公共交通機関をもっと充実させて、車なしでも快適な生活の実現にむけた施策を期待してます

カーボンニュートラルの意味がよく分からない。地球は温暖化していると思うし、科学者が二酸化炭素のせいだと言っているようなのでその対策をしなければならないのだろうと思う。だから電気自動車にしましょうということでしょう。そういうことを正確に理解することがむずかしい。車を作るのにも多くのエネルギーが使われているわけだし、何より、今のガソリン車を電気自動車に買い替えるのは簡単ではない。カーボンニュートラルという言葉を使いやすい日本語に置き換えできませんか。

自然を生かした市民の利便性向上

<p>EV化は避けて通れないでしょう。</p> <p>日本もここ100年間で平均気温が1, 24℃に上がり地球温暖化になって気候変動が起きています。</p> <p>個人で出来る事には限界がありますが、家庭から出る二酸化炭素は主に、電気・ガス・ガソリンの消費から排出されています。</p> <p>1 = 家庭の家電（冷蔵庫・TV・電気釜・便座・エアコン・照明器具etc～～）を 【全て省エネ家電に切り替える】</p> <p>2 = ・マイカーを利用せず公共交通機関にする ・エアコンの温度管理をシビヤに行う ・レジ袋からマイバック ・ゴミの分別 ・お風呂の水は2日位使いその後は洗濯に回したり家庭菜園の水やりに使う。</p>
<p>計画倒れにならないようにPDCAをしっかり回してほしい</p>
<p>EV車の普及にもっと力を入れてほしい</p>
<p>価格が高いため、補助金が、一般の人でも買えるぐらいの金額にしてほしい。</p>
<p>車の購入に向けて少しでも補助金を出してもらえると助かります。</p>
<p>一番影響が大きいのはエネルギーだと思うので、いかにクリーンなエネルギーを使えるようにするかというところでしょうね。自動車が電動化するとたくさんの電気が必要なのでクリーンな電力の確保も課題ですね</p>
<p>仕組みがよく理解できておらず、特に期待することはありません</p>
<p>まだまだPR不足で、啓発活動が必要である。</p>
<p>市の施策として取り組むことができることはあまり多くないと思います。スマートハウスにしても市が目玉の施策として取り組むべきことか疑問に思います。</p>

なかなか浸透しにくい気がするので、わたしたち市民が気軽に参加できるキャンペーンを増やすことで、こんなこともカーボンニュートラルにつながるんだと気づいてもらえるような仕掛けがあるといいと思います。（キャンペーンの参加も大切ですが、それ以上に、キャンペーンの内容を市民に知ってもらうことが必要かな、と思います。）市民がCNを知ること、自分の生活の中に、自然に取り入れることにつながれば、と思います。

・車両購入補助や家屋の太陽光発電設置費用の補助や設置している家屋への税軽減。

車の充電設備の充実や水素ステーションの増設 等

広報「とよた」などでの、市民への周知

環境に配慮した設備の積極的な採用。

電気自動車購入者への助成金をさらに増やして欲しい

充電設備、水素スタンド等の拡充のための施策の補助等の活動です。

・イベントなどを活用して、さまざまな取り組みを周知させ、提案に対してはなんらかのインセンティブを与える様にしたら如何でしょうか？

難しいですね。達成した企業、個人への報奨金制度の導入はどうか。

スマートハウスやハイブリッド車が具体的な利点を明確に提示してほしいです。

次世代自動車普及の補助金は事業者向けのみとなっており、一般人は恩恵を受けることができないのが残念です。

電気自動車は利用が不便なことに加え、高額でありながら、リセールバリューも悪いため、環境意識を高く持とうと思っても、購入は躊躇します。市がバックアップして頂けるとありがたいです。

また、水素自動車も水素ステーションの不具合を聞くと同じく購入は躊躇します。ステーションの増設を期待します。

ハーモライドのサービスが終了しますが、これも非常に残念です。とても便利でガソリンの排出もないので良かったのですが、同様のサービスの提供を期待しています。

大変むづかしい問題だと思います

市としてやれる事となると限りがあるのでは？

電動車やFCバスなども走っていますね

私は極力、車を使わずに、自転車を使っています。

CO2排出の内家庭の占める割合が大きく、家庭での大幅CO2削減が必要になる。家庭向け方策をしっかりと行う事が大切です。

車が有名な地域なので、小さい事でも取り組んでいる活動をアピールする事で一般の人の意識がかわると思う。

近くの小規模スーパー（メグリアミニ）でリサイクル用のペットボトルとアルミ缶回収の入れ物が撤去されてしまった。また、同じくゴミステーション（梅坪）も閉鎖されてしまい、以前とくらべて不便を感じている。

今回の概要とは逆行している身近な現実はどうしてだろうと少々憤りを感じる。

交通移動インフラの向上

市が、補助金を出すなどして、市民に魅力的となるようにする。

補助金の大幅なアップ。
情報発信、補助金、、、
電気自動車購入に対する更なる補助
自動運転の水素自動車が普及するような環境整備。バス、タクシー会社への助成金等。
本質的に「地球温暖化」を止めようとするなら、人間の取組みは遅すぎると思います。が、“できることをする”という意味では、豊田市の取組みは、他に比べ、よくやっていると思います。更にその速度を上げるべきかと思えます。
マンションに住んでいると、スマートハウスや電動車の充電、太陽光発電など、できないことが多いです。マンションにも、電動車の充電器を設置しやすくする補助金や、太陽光パネルの設置の推進などをしてほしいです。
しっかり広報して普及
1,水素燃料のミライ車を乗用車にしたいですが、市よりの補助ではまだまだとても手が出せる範囲では無いですね。関連して、水素の補給施設が少ないように感じております。 2, 太陽光発電システムも、脱炭素のかんてんからは有効であると思いますが初期投資額が相当なものであることから自分のところでは、まだ未実施でおります。市よりの補助次第では考えてもいいのではないかと考えたりするところです。 3, トヨタ自動車さんの、相当に真剣に検討されておられる「水素を燃料とする自動車」の普及に多大なる期待を寄せているところです。官民一体の国もびっくりする

4, 市内運行の水素燃料バスが、現在の3台かな? その台数をもっともっと増えることも脱炭素には大いに貢献に繋がると考えます。水素燃料バスの値段が高く、約1台で3億円とかするのでしょうか? 初期投資の費用増がネックとなりそうですかね?

5, 一人だけでの市内の移動では、電動車の普及にも補助・支援施策をも考えていくべきがあっても良いのではとも考えます。

補助金などで普及しやすくしてほしい

良いものを長く使うことも大切だと思うので、買い替えばかりに補助金支給することはやめて欲しいです。

事業所への取り組み促進・補助

太陽光や風力などの発電を利用した充電施設の提供

ごみを減らす為に正しい分別の仕方を周知する。リサイクルステーションの利用をしてもらう為に以前あったポイント付与は効果的だと思う。

補助金の充実を希望。

EV車やHV車などをもっと普及させるため、その根底となる社会インフラを整えるべきと思う。

また普及率を高めるために市独自の補助を進めて欲しい。

エネルギーについても風力発電や太陽光発電などの政策を進めて行くよう国などに

強く進言して欲しい。

畜産動物の問題（餌の穀物栽培のための森林伐採や、畜産動物のメタンガスの排泄）があり、その肉の消費を減らしていく対策を打ち立ててほしい。

脱炭素経営の人材育成支援 のより一層の充実

もっと市民にアピールしてほしい。



電気自動車の購入の補助金、税優遇  
電気自動車の充電設備の普及

カーボンニュートラル達成はとても難しいと思う。  
世の中プラスチック製品が溢れているけど、これらは原油からできており燃やすとco2が排出され環境に悪い。  
プラスチック製品をなくすだけでも、かなり環境に良いのではないのでしょうか？  
昔は豆腐を買うのに、自分で器持参していました。そのころが一番環境に良かった。  
飛行機だって燃料が必要でco2めっちゃくちゃ出すけど、飛行機を飛ばすなって誰も言わないのは不思議。  
クルマだけじゃない、そこに目を向けてほしい。

補助金…やっтерることが伝わってこない

補助金が出る事を知らなかったなので、もっと広く周知することが必要だと思う

周知が不十分なため、あまり理解がされていない。  
もっと周知と補助などの対策を充実させてほしい。

TOYOTAなど企業と協力して、豊田市だからできることで達成に近づけるといいと思う。

自転車、歩行者に優しい道路にして欲しい。

富裕層だけが享受できる補助ではなく、一般市民が取り入れられる補助を期待します。

市の公用車はすべて電動車などとする。インフラを整えるのは難しい。公的機関になら設置しやすく、場所としても便利なところにあり利用しやすいと思う。

補助金の拡充

公共交通機関の充実と低料金で使えるように補助する  
カーシェアリングなどの取り組みと補助  
森林、河川の整備  
リサイクル、リユースの推進

ハーモライドが廃止されるのが納得いかない。給電設備とかどうするんですか。大事な市の財産。きつとりニューアルされて復活するのですよね。ね？

補助金

目先だけでなく、広い目で見ての成果を目指してほしい

電動の車への補助金の増額

補助金の増額や補助金を受けるための要件を緩和する。

助成金の金額アップや充電スタンドの充実。

補助金など優遇な政策があれば、改善できると思います。

交通が便利になると、自家車の使用が減らせます。

補助金について、定期的に条件や金額などを告知し、利用を促す事で検討する機会を増やしていただきたいです。

自動車産業の先端を行く『トヨタ自動車』の本拠地、豊田市ですから、環境問題に積極的に取り組む市政であって欲しいと思います。

十分対策できていると思うので維持しつつ進化して行ってほしい

各家庭への影響がある場合は、補助金の支援をしていただきたいです。

より大きな補助金の支援

補助金が増えれば活用する人も増える

健康安全に

トヨタにいる限り大切

自動車産業が盛んな都市として、全国の市町村を先導するような取り組み

車を購入時、補助金がでたり、何かそういうのに協力すると補助やサービスが受けれたりすると行動にうつしやすい。
より温室効果ガスを削減された商品の購入時に支援金の付与をしてほしい
ハイブリッド車の購入代金助成や、水素ステーション増加など、現状もいろいろ取り組んでみえると思いますが、さらに継続していただきたいです。
EV充電場所を市内に多く建設する

**【6】 豊田市内での自然とふれあえる場（場所・機会）の多さについて、どのくらい満足していますか？**

とても満足している	29
やや満足している	98
どちらともいえない	48
やや不満だ	9
とても不満だ	1
わからない	2

**【7】 「サーキュラーエコノミー」という言葉の意味やその必要性を理解していますか？**

言葉の意味・必要性ともよく理解している	8
なんとなく言葉の意味・必要性とも理解している	27
言葉の意味は知っていたが、必要性は理解していない	6
聞いたことはあるが、意味・必要性とも理解していない	17
初めて聞いた（今まで知らなかった）	129

**【8】 ごみの減量に対する考え方について、あなたの考えや普段の行動に近いものを選択してください。**

ごみはできる限り減らそうと考え、分別も徹底している	109
分別を行ってはいるが、品目によって徹底の度合にばらつきがある	45
減量を心掛けてはいるが、手間がかかることはしない	16

減量や分別を行っているが、市指定ごみ袋に入ればいくら出してもよいと思う。	0
ごみを減らす方法やリサイクルする方法についての情報があればもっと減量できると思う。	15
ごみを減らす効果やメリットが分からない（必要性を感じない）	1
いずれにも当てはまらない	1

**【9】 家庭から出すごみを減らすために、家庭で実践している取組があれば教えてください。**

マイボトルの使用、など。
分別は確実に行うようにしている（生ごみ、プラごみ、ペットボトル、厚紙、段ボール、新聞紙、古着など）。また、ペットボトルの蓋はプラごみではなく集めている組織に寄付している。
買い物は、なるべく簡易包装(肉などは白いトレイがついていないもの)を選ぶようにしています。
ごみの分別はなるべくしていると思います。が、徹底はできていません。 水分は絞ってから捨てるようにしています。
分別をして資源ステーションへ持ち込んだり、食品ロスを出さないよう購入するものを決めて買い物に行く
古着や使い古したタオル等はウエスにして掃除に活用してから捨てる。
庭にコンポストを置き、生ごみはここに入れます。リサイクルステーションも定期的に利用しています。

ていないものが出てきた。

数回しか使わなかったり、同じような物が複数有ったりし、不用品をリサイクルショップに出したり、破棄したりした。

今後は、整理整頓を心掛け、必要品の見極めを実施していきたい。

・余分にものを買わない！事が大切。一週間単位で献立表を作り買う食品を決める。余分な物は買わない、広告に惑わされない、必要な数量だけ買う、鮮度の落ちる物から食べていくと、残らない、腐らない、捨てるものが減る。

・生ごみはコンポスト容器で堆肥作りに活用している、匂いで迷惑が掛からない様に気を遣う

分別。余計なものを買わない。腐らせない。

生ごみはごみ処理機で乾燥させて庭に埋めている。紙ごみは、新聞店が月1回収してくれるのでまとめて出すようにしている。

個人個人も意識をもって、ごみの分別に気を付けていきたいです。

余分な物は買わない

プラ容器を洗ってプラごみとしている。

なるべくリサイクルできるものはリサイクルしている。

紙ゴミは資源ゴミとして出す。

資源ステーションやリサイクルに出せるものはなるべく分別してだしている。

余計なものは買わない。

エコバッグを利用し、過剰包装は断る。

食べるものも必要な分だけ購入し、料理を作りすぎたり、食材を捨てないようにしている。

三角ゴミコーナーは絞って出す。

<p>野菜くずのコンポスト化。家庭菜園や花壇からでる植物系のゴミは堆肥にしている。</p>
<p>食品ロスなし。野菜の皮も魚の骨も出来るだけ食べます。ティッシュペーパーよりもハンカチを多く使うことでゴミ削減をしています。</p>
<p>生ゴミを土に埋めている。</p>
<p>ゴミに出さずに出来るだけゴミステーションに持参している。</p>
<p>資源としてリサイクルできるものはできるだけ分別をしている。また、靴の購入時には不要な箱をもらわないなど、購入時も気を付けるようにしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生ゴミを極力出さないために食品ロスを極力しないようにする。野菜は皮まで食べるようにする。</li><li>・ 個包装の少ない食品を選ぶ</li><li>・ 出かける際はマイボトルを持つようにしてペットボトルゴミを出さないようにする。</li><li>・ 不要なモノはリユースする(譲渡や売却する)</li><li>・ 不必要なものは買わない</li></ul>
<p>生ゴミはボカシと混ぜて家の畑に埋めている。</p>
<p>外出するときは水筒を持ってペットボトルや缶の飲み物を買わないようにする</p>
<p>余剰となる買い物はできるだけ避ける。 生ゴミの水分を減らすため、茶がら・野菜くずは天日で干す。</p>
<p>野菜ゴミを畑に返しています。</p>
<p>リサイクルセンターへの持ち込みを定期的に行っている。 燃えるゴミは、週一回しか出さないようにしている。ゴミ袋の小で、一つのみ。</p>

紙類はできるだけ小さくするなど量を減らすよう努めている。

小売店の包装等の改善が必要ですね。家庭ではできる範囲で努力しています。

- ・食品廃棄はゼロにする様、必ず冷蔵庫/ストック棚などをチェックして買い物に行く。
- ・マイバックなどの活用
- ・プラスチックは必ず洗って、資源にする。

個人での対応策が少ない、スーパーでの購入時のトレー、包装等の配慮が必要です。

コンポストを利用して生ゴミを減らす。するとゴミを出す回数が週2から週1に減り、ゴミ袋を使用する回数削減にもつながっています。

食品容器など、サッと洗えるものは洗って燃えるゴミにしない。

ペットボトル、食品トレーなど、回収可能な物は回収場所に出しているとプラゴミを出す頻度も月に1度だけになります。

要らない包装は貰わない、食品ロスを減らす。

着古した布を雑巾に使ってなるべくティッシュは使わないように心掛けています。

必要以上のモノを購入しない。これに尽きると思います。

人参や大根などの野菜は皮も食べる。

必要のない物を安易に買わない。食品ロスがないように献立を考えている。リサイクルできるものはリサイクルに回す。

生野菜などは、極力可燃ごみに出さず、畑の肥料となる様に畑に持って行っている。

生ごみをたい肥にして、ゴミとして出していない。

過剰な包装は、ことわる。野菜くずをペットのうさぎにたべさせる。雑草を抜いたら、集めて肥料になるまで、家の隅に置いておく。プラごみは、かさばるので、できる限り小さくして、すてる。プレゼント用の袋は、使いまわす。

野菜くずは乾かして庭の家庭菜園で使っている。

買い物は必ずエコバッグを使用する

生ごみはコンポストへ焼却負担の軽減やリサイクル資源化に留意している。

資源ゴミはなるべくリサイクルステーションに持って行っている。

食事は適量を作り完食する。  
必要なものを買ひ、買い過ぎに注意する。  
不要かつまだ使えるものについては人にあげたりフリマで売ったりする。同様に中古で構わないものはフリマで買うことも多い。

買い物に行ったときなどなるべく不要な包装または、袋などのいらぬ物はもらはない、家にもちかえらぬ。

特になぬ

チラシなどの裏紙も利用して、そもそもノートを余分に買わぬこと。  
古着を切って、食べたお皿を拭くぼろ布として使ってから捨てる。  
水筒持参して買わぬこと。  
チラシお断りのステッカーをポストに張ってチラシをもらわぬようにすること。

生ゴミは、ボカシと混ぜて有機肥料を作っています。  
プラごみを減らすために個包装のお菓子の購入は、控えています。瓶はリサイクルに出します。



エコバックをもって買い物に行き、余分な包装は断る。  
食品を無駄にしないように使い切る。

リサイクルできる廃棄物は、なるべく分別して出すよう  
に心がけている。

ものを買すぎない。

ゴミを分別して、なるべくリサイクルステーションに持  
ち込みようにしている。

生ゴミの水分のひとしぼり。  
詰め替えを使い容器の使用を減らす。コンポストを利用  
して生ゴミを再生利用。

- 1, 過剰包装がないように、いつも心がけております。
- 2, 水分は、しっかりと水切りして捨てる。
- 3, 生ごみは、土と混ぜてたい肥代わりとして土に戻  
す。
- 4, 買い物時は、エコバッグ持参で品物は極力単品で包  
装無しの物を選び購入すること。
- 5, 仕分けをしっかりと行い、リサイクル出来るものはリ  
サイクル品としてリサイクルセンターに持っていきま  
す。
- 6, リユース工房へも出せるものは出せたら、ごみ減量  
に繋がると考えておますことから廃棄する前に一息入れ  
て使えないかどうかするようにしております。

買すぎない

食べ残しをしない。

エコバッグの使用

靴を買った時は、箱はもらわず靴だけ持ち帰る

フードロスをしないような買い物をしているつもり。買  
いすぎないように毎日必要な分を買っている。賞味期限  
の近い割引になっている食品を選んで買うようにしてい  
る。

リサイクルできるものはリサイクルするようにしている。  
リサイクルステーションを活用している。

プラスチックを減らすため、ペットボトルはラベルなどを剥がし燃やすごみとしてではなく、リサイクルステーションなどへ持参する。  
また新聞紙は学校のPTA活動に協力する。  
食事において生ごみを極力出さないような献立をする。

既存のものを修復して使い、あまり新たな物を購入しないようにしている。

食品トレーは分別して、スーパーの回収箱へ持参しリサイクル

特になし。

生ゴミ処理器を使用している。買った食品を食べ切ること。リサイクルできるものはリサイクルショップへ持っていく。  
ゴミの分別。ゴミ袋をいっぱいにして出すようにするために、魚などの生ゴミは回収日まで冷凍庫に入れて匂わないようにしている。

ディスプレイで、生ゴミの量を減らしている

生ゴミは水分をよく切る。  
過剰包装の品物は買わない。  
ゴミになりそうな物は持ち帰らない、買わない。

食材は食べ切る！  
リサイクルできるものは、資源の再利用！

リサイクルステーションを積極的に利用している。

食べれなくてや賞味期限が過ぎて捨てる事がないように気をつけている。

欲しい物がある場合、本当に必要な物なのかよく考えて  
買うように心がけている

生ゴミは畑に埋めるようにしている  
ただ ネコやうじがわいたりするのが嫌なので深く埋めたり  
乾燥してから埋めるように心がけている  
雑紙もなるべく分別してゴミステーションに持っていく  
ように心がけている

分別をこまかくする。  
レジ袋や箸などを断る。  
リサイクルできるものはリサイクルに出す。

古い服やタオルを雑巾代わりに使ったり、捨てるにしても  
使い切れるところまで使って捨てるようにしている。

詰め替え洗剤の使用。

雑紙は丁寧に別けています。それまでは燃えるゴミとして  
出していたものも、雑紙を別けるようになってからは、  
燃えるゴミの量が減りました。

ごみの分別、マイバックの携行、使い捨てのものは買わ  
ない。食品ロスをなくす。

マイボトルの活用。  
生ゴミが出たら、その都度冷凍庫に入れて匂わないよう  
にすることで、ビニール袋の使用を減らしている

生ゴミはボカシを使って全て堆肥化している  
生協に加盟して、リユースビンや簡易包装のものを購入  
している  
購入する前に、本当に必要なものなのか、よく考えるよ  
うに心がける

リサイクルステーションの活用。

<p>とにかく分別して、リサイクルステーションで集めてる物は持って行く。生ゴミは絞って捨てる。野菜の皮も調理する。</p>
<p>リサイクルセンターに行く</p>
<p>園や小学校の資源回収に出せるものはだすようにしている</p>
<p>落ち葉と野菜くずは、燃えるゴミに出さずにコンポストや庭に埋めるようにしている。</p>
<p>トイレットペーパーの芯等、小さい紙ごみも分別している。 コーヒーのカスやお米をすった糠は畑にまいている。 錠剤のパッケージでもプラゴミで出している。 夫婦+犬1匹の世帯ですが、1回のゴミ捨ての時、小さい袋が満杯にならない位のゴミしか出してないです。 豊田市の分別はパーフェクトにしている自信があります。</p>
<p>自炊を心がけて、弁当などの空容器の発生を抑制</p>
<p>スマホのアプリにて、分別などについて活用しています。</p>
<p>食べられる量だけ買い物するように心がけています。</p>
<p>ぷらごみ用のゴミ箱を用意したり、雑紙用のかごを用意するなど種類ごとに分けて、捨てるときに簡単に分別できるようにしている。</p>
<p>買い物をするときに、必要最低限の物しか買わないようにしている。 リサイクルに持って行く。</p>
<p>しっかり分別し、リサイクルステーションを利用しています。食材を買いすぎず、使い切る努力をしています。</p>
<p>プラスチックより紙でできた物を買うとか。</p>

プラスチックゴミに対しての対応に、日頃疑問を持っています。燃えるゴミとはもちろん分別していますが、テレビなどで『プラスチックゴミ』の処理が国内で追い付かず、海外で引き取られている事。その送られ先の海外で海に放棄されているのを見ると、プラスチックゴミも燃やした方が良いのか？と環境問題との兼ね合いで考えさせられます。

野菜クズは出来るだけ出さないようにする

資源ごみや油は資源ごみゴミステーションへ持ち込み。

資源ごみの分別

請求書は電子書類にしてる。

野菜は皮を剥かない  
肥料に使うときもある

ゴミ分別真面目にしています

買いすぎない

生ゴミは畑へ

生ごみを捨てる時の最後の水切り

コンポストに生ゴミを捨てて、畑の堆肥にしている。

ゴミとして捨てるというより資源を細かく分類して次のリサイクルに活かせるよう心がけている

ゴミ分別など心掛けているが、家族(夫・息子達)はあまり関心がなく、放置してあるゴミは私が1人で分別している。

(ゴミ捨てどころか家事自体に協力しない夫なので)

過剰包装を希望しない。  
生ゴミは、水分を捨ててから捨てる。

物の価値観を考えて購入している。本当に必要なものかどうかと言う点も考えて!

食品ロスとか衝動買いをしないようにしてる

ごみ捨てを考えて買い物をしている

**【10】新型コロナウイルス感染防止をきっかけに変化した、ご自身の環境配慮行動があれば教えてください。**

新型コロナウイルス感染防止と環境配慮は特に直結するものはない。

買い物の回数を減らしたり、まとめて外出して、車の使用を減らすようにした

運動不足予防のため、車より自転車や徒歩を優先させるようにした。

今は仕事をしていません。環境配慮になるかどうかわかりませんが、以前から週に一度宅配で食料品などを購入しています。最近ほかの店でのネット購入も始めました。ただしこちらでは便宜上レジ袋を使わざるを得ないようです。

テレワークの実施、車使用頻度の減少。  
LED電気への変更。

毎日出かけていますが、特には変わったことはしていませんが、  
社会的な感染防止策は守り行動しています。  
コロナ感染への新聞記事やTVのニュースをよく見るようになりました。  
家庭内でもコロナ感染の話題に会話回数が格段に増え家庭内が明るくなりました。  
孫にも話してやり共通の話題になったのがコロナのおかげと思うと少し残念のところす

すぐ車を使用するのではなく、なるべく徒歩や自転車で動くようにしている

家食で、食べ切る。無駄がなくなった。

外出を控えて買い物も1人で行くように心がけました。

外出が減ったので自家用車のガソリン消費を多少なりとも減らせた

外出の機会が減った。

テレワークは率先実施しており、自動車での走行料が減った。

使い捨てマスクと布マスクを使い分け、ゴミを減らした。

特にありません

外出や外食、買い物の回数を減らし、家族以外との集まりを避けるようにしている。

遠くに出かけなくなった。

一度外出したら、いろいろな用事をまとめて済ませるようになった。

家庭内の電気製品をこまめにに切る。

在宅勤務により車通勤の回数が減り、ガソリン消費量は減った。

運動不足解消もかねて、可能な限り、自転車を使うようになった。

重ね着やひざ掛け等を活用し、これまでより暖房器具の使用頻度を減らした。

(無理のない範囲で)

車を運転する回数が少なくなった。

テレワークを行い、車通勤の回数が減りガソリンの消費を減らすことが出来た。

運転時には、急発進や急制動、無駄な加速をしないなど、燃料消費をできるだけ少なくする運転を心がけている。

【逆効果】

- ・逆にテレワークで調理のためのガスやエアコン/暖房を一人でも使用するようになり、環境負荷増加。
- ・密を防ぐために、公共交通機関の利用を控え、車での移動が多くなった。

【効果】

- ・長距離の移動をしないようになり、車による環境負荷低減。

近くのスーパーにはなるべく歩いて買い物に行き、ガソリンの無駄の節約に努めている。

食品のまとめ買い

ありません。

今まで、バスや電車を利用していたが、感染防止のため家族運転の車しか利用しなくなった。

外食を減らしたかわりに、持ち帰りや配達を利用するようになり、プラスチック容器のゴミが増えた。

外出が減って、ガソリン消費量は減った。

旅行に行かないようになったためガソリンの消費量が減っている。

旅行等の外出が大幅に減少しました。

旅行やドライブに行かなくなったので、ガソリンの消費が激減した。

手洗いマスク等の展開が増えた。旅行が出来なくなった。

日用品などの買い物に行く回数を減らす為に、物を大切に長く使えるようにする。

安易に買い替えしない。

近場で済ませられる買い物は近場で済ますことでガソリンの消費を減らす事が出来た

外出が減ったので、毎週1回入れていたガソリンが、隔週になった



<p>テレワークを行ない、通勤回数は減っているが、もともと徒歩通勤のため環境には貢献していません。しかし、飲み会がなくなった、無駄な食事を摂ることがなく、残飯が減っていると思います。</p>
<p>買い物に行く回数が減り、無駄なものを買わなくなりました。</p>
<p>特にありません</p>
<p>移動は自転車か徒歩で行い、自動車の利用を減らしている。</p>
<p>買い物に行く回数がへり、フードロスがなくなった。また、ガソリンの消費が減らすことができた。</p>
<p>あまり外出できないから、車に乗らずウォーキングを増やした。</p>
<p>外出が減った</p>
<p>外食や家族以外との交流を自粛。</p>
<p>コロナに伴い生活に特段の変化が無かったので特にない</p>
<p>外出が減り車の使用がすくなくなった。</p>
<p>特にない</p>
<p>あまり外出はしない</p>
<p>買い物に行く回数を減らしてガソリンの消費、食品ロスを減らせた。</p>
<p>コロナ感染が怖いので、あまり外出せず、ガソリンの消費が減った。</p>
<p>特にない。</p>
<p>外食をしない。人混みを避ける。 マスクは必ず着用。</p>

- 1, 市内移動は、自転車としております。
- 2, 自動車の乗車頻度がとても減り、ガソリンの消費量が減りました。
- 3, 歩行数が、とても多くなりました。20,000歩以上（一日）は通常でありよって体調的には内臓脂肪の減少・体重の減少と良いことが起こっております。
- 4, 人混みの中に行くより、山歩き等々の自然の中に行くことが多くなりました。毎週の水曜日の2時間の「あべまきの会」の皆さんの案内で森歩きはとても楽しみの一つとして有難くて、参加させてもらっております。

#### テレワーク

テレワークでガソリン代が減った。

食品の買い出しをまとめて必要な物だけ購入し食品ロスを減らした

今は元にもどったけど、去年はどこにもいけなかったの  
で、子供と自転車で出掛けたり、公園に行ったりした。

家族で遠出をしなくなったのでガソリン代が減った。

特に行動は変わってない。

外出自粛が長く続いた為、現在でもそのまま継続して  
おり  
ガソリン使用料が減少した。

テレワークとなり、車の利用回数が減って、ガソリンの  
消費を減らすことにつながった

在宅勤務が増え、車通勤の回数が減りガソリンの消費を  
減らせた。  
在宅勤務で電気や暖房などの消費が増えてしまうのをで  
きるだけ抑える努力

外出、外食が極端に減少して自家用車走行距離が減少し  
た。

外出を減らすために、出かけた日に一度に用事を済ませ  
る。  
遠出をしないで近くのスーパーを利用。

買い物に行く回数が減ったため、車を使う頻度が減り、ガソリンを節約できた
運動不足と、ガソリン高騰があったので会社まで徒歩通勤を始めた。 外食を控えて、テイクアウトにしたらプラスチックごみがたくさん出て自己嫌悪に陥った。
テレワークによるガソリンの消費低減 ステイホームで外食もなくなり、自炊によりごみが増加したため、分別を以前より気をつけるようにし、リサイクルステーションを利用するようになった。
時差出勤、アイドリングストラップなど
大型スーパーなどに出かける機会が減って時間が出来たので歩いて行ける所はなるべく歩いていくように心がけている
特に無し
外出を控える
テレワークが導入されなかったので、以前と変更ありません。
食事の買い物の回数が減った。
散歩中心を心がける
マスク
無し
世間はテイクアウトが多くなったがその際に出る容器がもったいないと思い、テイクアウトもしていない。
オンラインでの会議の実施
買い物へ行く回数が減ったことや遠出をしなくなったことでガソリンの消費を減らすことが出来た。
無し
自転車で行動する事が多くなった。
家の周辺に用事がある時、歩くまたは、自転車で行く

マスクは布製の物を使って、洗って何度も使用している。
外出を減らし、徒歩圏内のスーパーに車で行くのをやめ、徒歩で買い物することで買いすぎも防げ、意識して食材も使い切るようになりました。
コロナだからと変わったことは何一つない。
一番酷い時期には、必要以外の外出をしない事。出掛けた際には、手指消毒を何度もし、帰った際にも手指消毒とうがいを欠かさず行いました。出掛ける回数が減った事から、ガソリンの消費も減ったと思います。
特に変化が無い
旅行へ行くことがなくなりガソリンの消費が減った。
テレワークを行い、車通勤の回数が減りガソリンの消費を減らすことが出来た
時間があれば、移動は徒歩や自転車にしている。
スーパーに行く回数が減ったのでガソリンの消費が減った
外出ひかえた
テレワークしたい 会社次第
車乗らない バス利用
行楽に出かけることがなくなったのでガソリン削減
旅行が減り、スーパーや大型ショッピングモールに行かず、公園にいつている。
自宅で過ごすことが増えたため生ごみの量は増えたと思うが、購入する食品のごみの量は減ったと思う
旅行も行楽も行かず、買い物も日用雑貨と食品のみの近場で最低限のみなので、ガソリンの減りは少ないです。

戦争に負ける前の日本がやっていたことなので、感染防止だとか環境配慮行動と言えるものはない。とにかく豊かさと言う言葉を遥かに超えたぜいたくな日本になるのではないか。貧困貧困を助けると言っているが、まず自分たちが変化しないと何も変わっていかないのではないか。
経済的に厳しくなった
不要不急な外出はしない

**【11】 中期的（2030年頃まで）に行う豊田市の環境施策で重視すべきことは何だと思えますか？（3つまで選択可能）**

暮らしの省エネ、CO2削減の推進	101
新エネルギー、再生可能エネルギーの活用	81
山林や水辺など自然環境の保全	68
生態系の保全、特定外来生物への対策	26
有害鳥獣への対策	24
ごみ減量化、リサイクルの推進	91
身近な生活環境（大気・水・土壌等）の保全	54
環境教育、そのための人材育成	30

**【12】 「豊田市環境基本計画」の中間見直しについて、ご意見がありましたらお聞かせください。**

成果指標について、各目標値がどのような算出されるのか知りたい。
新車販売台数に占める次世代自動車の割合は2025年目標値が39%から50%に変更されていますがもっと増やすようすべき ではないでしょうか？ そのためには製造会社、販売店に加え市の強力なバックアップをしていただきたいと思います。

豊田市はいい環境にあると思います。人口密度もまあまあですし、何より里山がすぐそこにある。山や川を大切に守ってほしいと思います。野生動物は確かに変化していると思います。私の家は住宅街ですが、家の前の歩道をキジが歩いているのを見たことがあります。トンビが以前より住宅近くを飛び回っている感じがします。ハトが減り、カラスを多く見かけるようになりました。庭でイタチを見ました。彼らが以前より住宅地に近づいているような気がします。害がなければ楽しいことなのですが、本当は人間と野生動物は住み分けたほうがいいのでしょうか。

ハイブリットの車が安く買える補助金があるといい。

豊田市は工業の町のイメージがあるが、農業も充実しているし、森林も多い。自然の充実や野生動物が住み続けられるような環境作りが必要。循環型社会の為、リサイクルなどがもっと身近接する機会を多くする。食品ロスの削減の為、各商店と市民をつなぐ仕組みをすすめてほしい。

ゴミを減らすための具体的な内容を市民の皆さんから募って、それを公開することで、気軽に出来ることを市民に伝えていく、というのはどうでしょう？  
市民の意識がかわらないと達成は難しいこともアピールしてはどうでしょう？

1 = 私は一番求めたいのは（賞味期限）の表記です、つまり、【年月日】から【年月】に変えるだけで食品ロスのみならず、輸送ロスが大幅に減らすことが出来る。日本人の食品に対する安全意識がおかしい、ナーバスになりすぎる。

日本の食品製造・卸し・小売り・販売業界には1/3ルールが有り期限前には賞味期限切れで廃棄される。（日本食料破棄年間2842トン、食べられるのに捨てる食品ロスは年間646トン）

2 = 市内のスーパーマーケットに【賞味期限近し】の特設コーナーを設置する。行政が主体となり大々的に進める、購入者には何らかの還元方法（ポイントの付与）にする。

3 = ゴミの収集が当たり前と思うサービスが有るからゴミが減らない。

韓国は有料化が進んで全土に定着している。ここは素直に認めましょう。

レジ袋が有料化されたが反発が起きたが今ではすっかり定着している。ゴミの分別もすっかり慣れて定着している。新しいこと始めれば抵抗、反対、が起きるのは自然な事、今の慣れ親しんだ手順や方法、仕組みを変えようとすれば反対者が出るのは当然です。市の財政の為に『ゴミの収集有料化』を打ち出し計画案を市民に時間をかけて説明会を設けて地道に取り組めば市民の意識も変わる。

4 = 不要品（家庭内品全般）のリサイクルは市民コーナーで成果を上げています、私も何度か利用させて頂きました。

残念なのは、遠方の方はA館まで行かなければならないことです。市駅の目の前や知名度からしたら立地条件は素晴らしい位置、場所ですが。

渡刈清掃場のリサイクルも何度か利用させて頂きました。

市内各コミュニティセンターへ年1回は展示して頂ければありがたいですね。事前に広報とよたで年間スケジュール決めていただければと思います。

5 = 古着の回収BOXがクリーニング屋さんとかで設置され始めました。コンビニにも設置を促せば若者が捨ててくれてリサイクルできると思います。

家庭ごみは、企業や販売店が売っているものからでるものです。もっと、企業や販売店がメーカーや購入場所に関係なく回収してほしいです。資源回収の場所が遠くて持っていけなかったり、出す時間にできなかったりする人もいると思います。スーパーなどの販売店が今以上に回収してくれると助かります。回収の取り組みに企業が関わって、企業が直接回収してリサイクルなどに使ってくれないでしょうか。

通学道路の歩道を確保して、安全に過ごせるように個人個人が楽しく過ごせるような街作りに努めてください。

特にありません

まだまだPR不足で市民に浸透していないので、イベントを通じて広報をする。

プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品の回収、資源化ができれば素晴らしいと思います。製品への使用者が費用負担を行っている容器包装と異なり、処理にかかる費用を誰が負担するかが問題となると思うが、回収、再資源化できるものの量、品質は容器包装材に比べて有利と思われるので是非実現してもらいたい。

スマートハウスや次世代自動車の導入により、どれほどの省エネ、CO2削減が行えるか知りませんが、市の施策の目標として件数、挿入率のみをあげるのは如何のものかと思います。その結果CO2削減がどれほど行えるかまで表示すべきだと思います。再生可能エネルギーの導入促進のための施策は強化継続すべきだと思います。



・他の市町村に比べて、ゴミの無料回収が劣っている(豊田市は例 金属ゴミが有料)。それにより不法投棄 等の増加の要因になるのではないか？

・『クルマの街』でもあるため、全国に率先して電動化、水素車の普及の後押し(充電設備の充実や水素ステーションの増設)をして欲しい。

市民を含め世界中の人間の多くはカーボンニュートラルの必要性はそれなりに理解しているとおもいます。地道な活動の累計が目標を達成することになるだろう。基本計画はもっともな内容になっていますね。

計画は良いがいかにかに市民を巻き込んだ展開をするか具体案が乏しい。

次世代自動車の普及率、市内の環境マネジメントシステムの取得事業者数、市民一人当たりのごみ排出量(家庭系ごみ)、事業系可燃ごみ排出量の4項目が目標未達ということですが、その挽回策を宣言して取り組むべきだと思いますが、循環型社会の取り組みにおいては講じようとする施策として「食品ロス削減全国大会開催のレガシーとして、食品ロス削減の市民運動を促進」「分別の促進による資源循環行動の徹底を行う」は良い取り組みだと思います。一方、脱(低)炭素社会の取り組みの上記2点については資料を読んでも、具体策は読み取れませんでした。

特にありません

環境を悪化させないために、市民全員の意識を向上させる必要がある。

脱炭素化に繋がる行動が私達にも実践できる内容もある事で光が見えた。

リサイクルをするのって、こちらもすごく面倒。正直、リサイクルをして個人にそれなりのメリットが無いと、みんな動かないと思う。

「カーボンバジェット」を意識すると、取組みの内容は遅すぎるように感じます。が、現実にはできる内容と考えたら、妥当な線ではないでしょうか？

なかなか進まない環境問題も根気よく続ける。

- 1, 個々人の意識改革が先ずは大切と考えます。
- 2, 物事の実行に当たっては、これでよいのか常に考えて行うことを個々人が実行していく必要があると考えます。
- 3, 「豊田市環境基本計画」の内容をよく理解し情報の取得に努めることはとても大切と思います。
- 4, 推進計画が、より多くの人に知ってもらえるような情報の伝達方法も色々と工夫が必要不可欠かもと考えたりします。
- 5, 自分は、市役所の展示会フロアーを時間をかけて見て回る時間を取っておりますが、そう簡単には色々な情報はそう簡単には得られませんので、より多くの人に情報を提供する事は、相通に努力を要することだと考えます。

補助金頼みの政策にならないようにぜひご配慮下さい。

リサイクルにポイント付与すれば手間でもリサイクルしようとする人は増えると思う。  
ゴミは毎日出るので、面倒な事はなかなか特典がないと出来ないと思う。

子や孫等次世代の事を考えまた環境を良くするいい計画と思います。計画倒れにならないよう進めて欲しい。

有害鳥獣を、ただ害として見なす施策は反対です。人工林を天然林に戻し、里山と奥山との棲み分けをするなど動物への配慮が必要だと思う。

より一層の、食品ロスの低減促進

特になし。

事業系の食品廃棄をもっと減らすために事業者も消費者も意識を変えなければいけないと思います。

リサイクルステーションを利用するともらえたポイント制を復活させて欲しい。

豊田市よりも進んだ環境対策をしている市町村は他にもある。良いところをたくさん取り入れて環境対策を強化してもらいたい。

特に無し

リサイクルを進めることになるかどうかはわからないが、資源ステーションをあける時間を早くしてほしい。電動車等を利用するにもインフラが整備されることのほうが先かなと思う。

ハーモライドに変わるエコモビリティについて言及してほしい。

取り組むとポイントがもらえる

21ページのSDGsポイントの件で、以前はリサイクルステーションでポイントがもらえたので、積極的に出すようにしていました。リサイクルステーション&とよたSDGsポイントを知ってもらい利用してもらえるよう到来店ポイントを是非復活させていただきたいです。

資源ゴミ等、月1回は少ないです。少ないので、週1回はイオンのゴミステーションに行っています。足の無い方は、月1回だと、家にゴミが溢れるので、ゴミに混ぜて捨てる人も多いです。

家庭では、主に主婦の方が分別に携わる方が多いようで細かく分別も行われているようですが、会社の男性寮などの話を聞くと何でもいっしょに捨てると耳にしました。  
やはり、難しいのでしょうか。

環境教育については、NPOなどと市が連携してイベントや出前講座などを行なってみてはと思います。  
環境施策で有害鳥獣への対策が必要と思いますが今の農政課の対応者では、市民に寄り添った対応はできていません。その為、理解力の高い担当や駆除を行っている猟友会などと協力や連携、情報共有して行える組織にして頂きたいです。

家庭ゴミの削減をするためにはリサイクルステーションの数が少なすぎる。無人のリサイクルステーションがゴミ捨て場並にたくさんあるとより多くの方が分別に協力できる。

SDGs目標達成のチャレンジ企画など、市民が参加しやすい企画の拡充にも期待しています。

自然観察の森みたいなのが沢山あるといいな

昔の生活に戻りたい

車乗らずバス利用 おいデンバス充実

安全 電磁波注意

一時的な補助に加えて、継続的な活動にも支援があれば良いと思う

カーボンニュートラルもはっきりとした目的が見えない。CO2は山、海からほとんどが出ておりそれが97%位なのだから、そのうちの1%を縮めるのにどれだけのお金を使ってしまうのだろうか、貧困、ほんとに困ってる人のところに支援がいつてるのだろうか、外国のことを考えてもいいがまずは日本の学生たち老人たちが生きやすい社会を作るべきではないだろうか。資本主義社会においてカーボンニュートラルは極めて難しいことであると思っているし、アメリカを含めて大きな国々がCO2の削減と言うだけでお金に走っており本当に世界を変えようと思ってるのだろうかというのがとても疑問です。まずは自分たちの足元を見るべきではないだろうか。今どこの企業もCO2カーボンニュートラル、みんな合言葉のように口に出しているが、それだったら行動は変わるでしょう!なんて思ってます!